

科目名	臨床病態学Ⅳ (Clinical Pathophysiology Ⅳ)			科目コード	156
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	2年次前期	関連DP	看②③④
担当教員	佐田 榮司、今村 高暢*				
授業概要	高齢者のケアに必要な内科、泌尿器科、整形外科的疾患および精神・神経科などの必要な知識が得られるように講義する。精神医学についてはそれらの疾患の診断基準・病態(発症要因、症状、経過、予後)や標準的な治療について講義する。(オムニバス方式) (佐田教授) 高齢者医療について教授する。 (今村非常勤講師) 精神医学について教授する。				
授業目標	高齢化社会の到来とともに高齢者医療に対する関心の高まりはただ単に医学に留まらず、社会、経済のあらゆる分野に及んでいる。高齢者はその生理や代謝の面から多くの点で若い人と異なっている。高齢者の臨床を行う際にはその身体的特徴および疾患の特徴を十分に把握する必要がある。近年、精神疾患も病態解析がなされ、疾患特異性が明らかになってきている。そのため、疾患の診断基準・病態(発症要因、症状、経過、予後)や標準的な治療を理解することはこれからの診療に不可欠である。これらを修得することを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	総論 1	イントロダクション、高齢化の現状、老化の概念・メカニズム	佐田榮司
2	総論 2	老化について(老化とアンチエイジング)	
3	総論 3	加齢による身体の変化、高齢者に特有の症状 1(老年症候群 1)	
4	総論 4	高齢者に特有の症状 2(老年症候群 2) 高齢者の臨床検査、栄養療法、薬物治療	
5	各論 1	高齢者で注意を要する疾患 1(循環器疾患、血管疾患)	
6	各論 2	高齢者で注意を要する疾患 2(老化と疾患、代謝疾患)	
7	各論 3	高齢者で注意を要する疾患 3(運動器疾患、骨粗鬆症、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイル)	
8	各論 4	高齢者で注意を要する疾患 4(神経疾患・認知機能障害)	
9	精神医学 1	統合失調症	今村高暢
10	精神医学 2	神経症	
11	精神医学 3	気分障害	
12	精神医学 4	嗜癖	
13	精神医学 5	発達障害、知的障害	
14	精神医学 6	摂食障害	
15	精神医学 7	人格障害	
成績評価方法		佐田担当分野 50%、今村担当分野 50%(内訳:試験のみ)	
教科書		北川公子ほか「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学」(医学書院) 佐々木英忠ほか「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論」(医学書院) 武井麻子ほか「系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎」(医学書院)	
参考図書等			
授業時間外の学習について			
関連科目		1 5 3 臨床病態学Ⅰ、1 5 4 臨床病態学Ⅱ、2 1 7 老年看護対象論、2 2 9 精神看護対象論	
備考		実 佐田、今村*: 医師(医療機関)	